会　議　録

会議の名称	令和６年度　第４回日向市総合計画審議会
開催日時	令和６年１０月１７日（木曜日）13:30～15:00
開催場所	日向市役所４階委員会室
出席者	別紙名簿参照 欠席：中田和明委員、鈴木博久委員、佐藤正由委員、横山道徳委員、黒木繁人委員
議題	（１）総合計画の基本構想及び前期基本計画について ①基本構想の将来像について ②前期基本計画の施策体系について （２）まちづくりの重点課題と重点戦略について （３）絵画コンクール応募作品の審査について
会議資料の名称及び内容	・会次第 ・資料１　　第４回 日向市総合計画審議会資料 ・資料２　　日向市の将来像及び地域ビジョンについて ・資料３　　第３次日向市総合計画・前期基本計画の体系図 ・資料４　　第３次日向市総合計画 重点戦略（案）
記録方法	□ 全文記録 □ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ■ 会議内容の要点記録

会　議　内　容

開会

１．会長あいさつ

２．経過報告

※資料１を基に事務局より説明。

【質疑】

委員：議会へ中間報告したとあるが、議会からはどういった質問があったのか。

事務局：議会へは中間報告として現在の状況を説明したところ。基本的な考え方についていくつか質問があった。

３．審議

（１）総合計画の基本構想及び前期基本計画について

①　基本構想の将来像について

※資料１、資料２を基に事務局より説明。

【質疑】

委員：資料２の中に「コミュニティの重要性」とあるが、具体的にはどのような考えを持っているのか。

事務局：本市のまちづくりを進める上で大切にしたい考え方として<市民協働・共創>では市民との協働による共創のまちづくり、<地域力活用>では地域力活用による持続可能なまちづくりとして考え方をまとめている。具体的な取組については、前期基本計画に記載し、次回の会議でお示ししたい。

委員：計画をチェックする機関が必要だと思うが市内部で行うのか、それとも審議会のような委員会で行うのか。

事務局：総合計画及び総合戦略では指標を設定し、達成状況について客観的にわかるようにしたいと考えているところ。また、総合戦略の評価については「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を毎年開催しており、今後も評価・見直しを行っていきたいと考えている。

委員：資料２について、将来像についてわかりやすく説明していただいたと感じた。
一方、地域ビジョンについては、主体となるこどもが地域ビジョンを見たときに、こども自身が負担に感じてしまうのではないかと思った。再度検討する必要があると思うがどうか。

事務局：市の課題が様々ある中、特にこの４年間に市として重点的に取り組んでいく姿勢を示す意味でも「こども」とはっきり明記したいと考えている。表現についてどのような内容のものが良いか、この審議会の中でご意見いただければと考えている。

会長：地域ビジョンについて、他の委員の意見を伺いたいと思うがどうか。

委員：誇りを感じてもらうために、幼い時期の成長過程の中から気付いてもらう必要があると思う。
そういった取組を地域が一体となって取り組み、作り上げていくといったメッセージが事務局案に込められていると私は感じた。

委員：地域ビジョンの表現について「地域が一体となって、次世代に希望をつなぐまち」としてはどうか。

副会長：将来像や地域ビジョンは推進の主体がどこになるかで設定の仕方が変わってくると思う。
将来像を設定する総合計画は市民全体が理解し、まちづくりの指針として取り組んでいく必要があると思うが、地域ビジョンを設定する総合戦略は、行政がどのように戦略的に施策を進めていくかをまとめたもの。審議会から行政に対する依頼事項としてしっかり取り組んでほしいという文脈で読むと、事務局案でも我々審議会の意見は十分反映されていると感じた。一方、主体が行政だけでなく、官民一体となって取り組むプロジェクトが多いということであれば再考する必要があると考えるがどうか。

事務局：現在、前期基本計画の策定と併せて、具体的にどういった事業を重点的に取り組むのかといっ

たことを検討しているところ。その中で、行政だけの取組もあるが基本的には協働して取り組む中、市民・企業・団体といった皆様と役割分担しながら取り組んでいくということは変わらないと考えている。その中でも、こどもたちに誇りを持ってもらえるようなまちづくりをしていきたいという想いを地域ビジョンに込めている。

副会長：事務局から説明のあったように、様々な方が地域ビジョンを読まれることを前提とすると、誤解を生じることがないよう地域ビジョンの説明文を修正するべきだと考えるがどうか。

会長：委員の皆様から意見を伺いたいがどうか。

委員：「こどもが故郷ひゅうがに誇りを持ち～」ではなく「こどもが故郷ひゅうがに誇りを“持て”～」としてはどうか。

委員：“こどもが”を省略してはどうか。

事務局：４年間の重点戦略を進める上で、「こども」を主眼に置きたい。そのため「こども」というキーワードは使用したいと考えている。

委員：「こども」というキーワードは必要かと思う。みんなが知るべきである共通のキーワードとして見える化することは必要かと思う。

委員：言葉の受け取り方は人によって変わってくる。「こども」を優先したいというメッセージを伝える意味でも必要かと思う。

副会長：「こども」はキーワードとして設定した方が良いというのは委員のコンセンサスが得られたかと思う。それではこどもが圧力や負担感を感じないような表現にするために“持ち”を“持てる”に修正してはどうかと意見があったがどうか。

委員：“持てる”に変更することに賛成。また、今後どういった施策を展開していくかが重要で、施策の内容を審議していきたいと考えている。

委員：事務局案が良いかと思っていたが、皆さんの話を聞く中で、「こどもが故郷に誇りを持てるまち、未来に希望をつなぐまち日向」としてはどうだろうか。

委員：今の委員の意見に私も賛成したい。

会長：それでは委員の意見を踏まえて、地域ビジョンを「こどもが故郷に誇りを持てるまち、未来に希望をつなぐまち　日向」として良いか。また、将来像は事務局提案のとおり「人と自然が響き合

い、にぎわいあふれる共創のまち日向」としてよろしいか。

全委員：異議なし。

② 前期基本計画の施策体系について
※資料１、資料３を基に事務局より説明。

（委員からの質疑等なし）

会長：それでは事務局案のとおり前期基本計画の施策体系について決定することでよろしいか。

全委員：異議なし。

（２）まちづくりの重点課題と重点戦略について
※資料１、資料４を基に事務局より説明。

【質疑】
委員：戦略１の中で「妊娠・出産から乳幼児期にわたる支援の充実」と「小・中学校教育等の充実(三位一体の教育等)」が別で記載されているが一緒に考えてほしい。というのも、自分のこどもが乳幼児期に知りたいと思っていた相談する場所などの情報を小学校の段階で知ることが多く、妊娠・出産期から一貫して考えてほしいと思う。また、三位一体の教育について、ＰＴＡは何をすればいいかわからず、具体的に案を示してもらえると動きやすいと考えているがどうか。

事務局：現在、前期基本計画の中で施策の内容についてとりまとめを行っているところ。委員ご指摘の部分については、教育分野と子育て分野と分かれている部分であり、一つの計画として一貫性のあるものになるよう、各担当課に事務局から伝えたい。

委員：成績上位の児童生徒は中学校卒業後に市外の高校へ行く割合が多いと感じる。市内の高校をより良くするための取組を記載することはできないか。

事務局：高校については所管が県教育委員会となっており、市が主体的に取り組むことについて記載することは難しい。現状、日向東臼杵市町村で構成する広域の協議体があり、県の教育委員会と意見交換を行いながら取組を行っている部分はある。具体的な取組は前期基本計画の中に入れたいと考えている。

委員：「妊娠・出産から乳幼児期にわたる支援の充実」とあるが、現状、市内で出産ができる産婦人科が 1 軒となってしまっている。出産件数が少なくなっている中、経営が厳しい状況になっているのは日向市だけではなく全国的な問題となっている。その中で、日向市出身の方が地元に帰っ

てきて出産しやすくなるような環境整備、例えば、帰省した時のきょうだいの一時預かりといったような取組は必要かと思う。

事務局：委員ご指摘の部分は前期基本計画の「健康福祉」の分野となる。総合計画の中でも引き続き取り組んでいくこととしているが、具体的な内容は次の機会にお示ししたい。

委員：子育て教育については産業界と一緒に取り組む必要があると感じている。いわゆる「ワンオペ育児」の弊害は考えていく必要があると思う。また、国の「えるぼし認定」「くるみん認定」を取得することで賃上げ促進税制の税控除の上乗せ要件となり、賃上げに対する対策など働き方改革を進めることで子育てへの支援につながっていくと思っているところ。

事務局：委員ご指摘の部分については、ワーク・ライフ・バランスの部分になるかと思う。子育て世代に選ばれるまちづくりを進めるための施策、例えば民間事業者と一体になったワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むといったことについて、持ち帰って検討したい。

会長：他に質疑等ないようであれば、事務局案で承認ということでよろしいか。

全委員：異議なし。

（３）絵画コンクール応募作品の審査について

※資料１を基に事務局より説明。

（委員からの質疑等なし）

会長：それでは事務局案のとおり絵画コンクールについて決定することでよろしいか。

全委員：異議なし。

４．今後のスケジュール

※今後のスケジュールについて事務局より説明。

閉会